

畜産農家の皆さまへ



食品の安全確保のために
「**薬剤耐性菌の状況把握調査**」を行っています。

- 各地の農場で家畜の糞便を収集し、薬剤耐性菌の出現状況を調べます。
- 農場での抗菌性物質の使用状況を調べます。
- この調査結果は、次のような農林水産省等の施策に反映されます。



抗菌性物質の適正な使用



薬剤耐性菌の増加を抑制



食品を介した人の健康への影響を評価



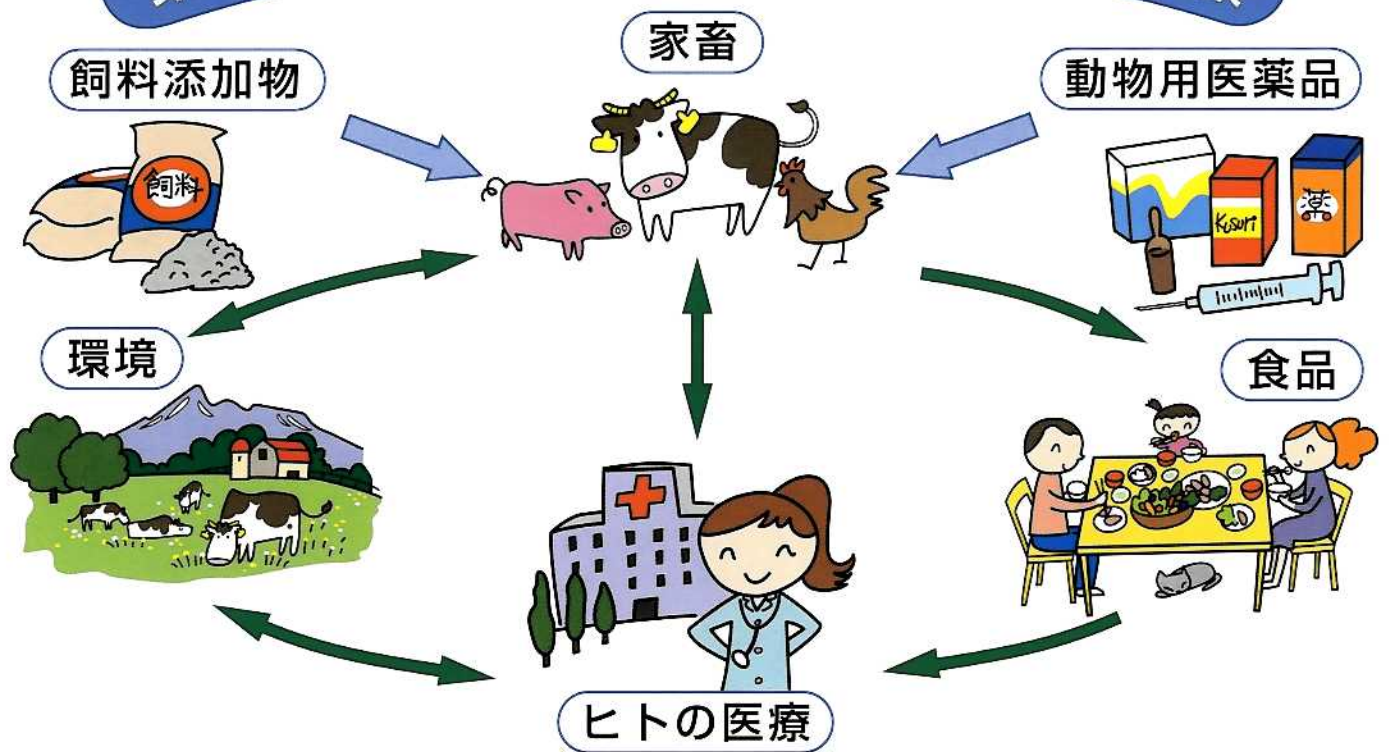
薬剤耐性菌とは



動物用医薬品や飼料添加物として抗菌性物質を家畜に使用すると、その抗菌性物質が効かない細菌が現れることがあります。これが薬剤耐性菌です。

薬剤耐性菌の出現は、家畜の治療を困難にするおそれがあり、また、家畜や畜産物を介し、ヒトの医療に影響を及ぼすことが心配されています。

薬剤耐性菌のフードチェーンにおける循環



薬剤耐性菌を減らすために

抗菌性物質の適正な使用をお願いします。

- 家畜の治療には、
 - ・ 獣医師の診察を受け、抗菌性物質の使用が必要か否かの判断を受けましょう。
 - ・ 添付文書をよく読んで、正しく使いましょう。
- 飼料への添加は、
 - ・ 対象家畜、使用期間、種類、使用量を守りましょう。
- 書類や帳簿は、
 - ・ 動物用医薬品指示書、出荷制限期間指示書、購入伝票・記録を保管しましょう。
 - ・ 投薬や給餌を帳簿に記録しましょう。



〒330-9731 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
独立行政法人 農林水産消費安全技術センター
<http://www.famic.go.jp/>
平成21年度 農林水産省委託事業